

基礎医学 P B L < C S >

教 員 名

教育内容の項に記載

I 一般学習目標

基礎医学の情報を自ら検索し問題解決ができるように、教員との間で双方向的に学ぶことにより、IV、V期に行われる基礎医学の授業科目について知識を深めると同時に自主的学習態度を身につける。

II 個別学習目標

テーマ毎に提示。

III 教育内容

テーマ及び担当者：別表のとおり

IV 学習および教育方法

セミナー：教員との間で双方向的に学ぶ。 IV期（44時間1コース）、V期（48時間1コース）それぞれ1テーマを必修とする。

V 評価の方法

別表のとおり

VI 推薦する参考書

テーマ毎に提示する。

(別表) 基礎医学PBL：テーマ・担当者・評価方法

(Ⅳ期)

講座名	テーマ	担当者	評価方法
解剖学(1)	ストレスを科学する	教授 上山 敬司	2割以上欠席したものは履修の認定はしない。授業開始時刻より30分までの遅刻は0.5回の欠席とし、それ以上の遅刻は欠席とする。出席と発表内容および討議態度を5段階(A~E, Eは不合格)で評価する。
	バイオインフォマティクス入門	講師 山本 悠太	
解剖学(2)	精神・神経疾患研究入門	教授 森川 吉博 助教 久岡 朋子	出席10%、学習態度10%、テーマの選定10%、情報収集・分析能力10%、論文読解能力10%、スライド・レジメの作成10%、プレゼンテーション能力10%、コミュニケーション能力10%、論理的思考の実践10%、他の意見に対する建設的批評10%で評価を行う。
	肥満の分子生物学	教授 森川 吉博 助教 小森 忠祐	
生理学(1)	脳機能の多面的理解	教授 金桶 吉起	各回における取り組み方、レポートの内容によって5段階に評価する。無断欠席1回以上、遅刻2回以上は不合格とする。
	脳のリズム	准教授 木村 晃久	
	痛みとその制御機構	講師 井辺 弘樹	
	脳の男女差	助教 堂西 倫弘	
生理学(2)	臨床から考える生理学(1)	教授 前田 正信	1. 出席・態度を重視する。無断欠席・無断遅刻等の多い学生は、単位認定しない。CCU、ICU、病室に連れていくので医師らしい身だしなみ・医師らしい態度を評価する。 2. 自ら問題を見つけ、自ら調べ、自ら答えを考える姿勢、プレゼンテーション力、他の学生の発表への積極的な質問などを評価する。そして、「自己学習する生活習慣」が身についたかを評価する。
	臨床から考える生理学(2)	准教授 向阪 彰	
生化学	タンパク質の一生を考える	助教 松井 仁淑 教授 井原 義人	出席点(40%)、学習態度と発表点(40%)、討論文点(20%)の合計を総合点として評価する。
	生化学実験入門	助教 井内 陽子 助教 池崎 みどり	

基礎医学PBL：テーマ及び担当

(V期)

講座名	テーマ	担当者	評価方法
薬理学	薬理学実験入門	教授 岸岡 史郎 准教授 松崎 伸介 講師 木口 倫一 助教 雑賀 史浩	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
病理学	癌細胞の増殖・浸潤と転移	教授 村垣 泰光 講師 及川 恒輔 講師 佐藤 冬樹 講師 中西 雅子	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
微生物学	感染症を考える	教授 西尾 真智子 助教 太田 圭介 助教 松本 祐介	自主学習すべき課題の明確化と学習内容を50%、理解度及び発表能力50%で評価する。
法医学	生体防御とサイトカイン	教授 近藤 稔和	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
分子医学	癌と器官形成の分子医学	准教授 京 雪楓 講師 片山 圭一	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
遺伝子制御学	器官形成、生殖器官の根幹的な発生プログラムの解明	教授 山田 源 講師 鈴木 堅太郎 講師 宮川 信一	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
生体調節機構	遺伝子改変技術を用いた免疫学研究	教授 改正 恒康 准教授 邊見 弘明 助教 佐々木 泉	出席を重視し、発表内容と発表能力・態度を総合的に評価する。
R I 実験施設	老化遺伝子・長寿遺伝子とエネルギー代謝ー腹八分目が導くアンチエイジングの分子メカニズムー	講師 井原 勇人	出席40%、ディスカッションへの参加状況20%、プレゼンテーション40%で評価する。なお、出席が2/3に満たない場合（病欠、不責事由等は除く）は不合格とする。
中央研究機器施設	細胞の機能と形態	准教授 宇都宮 洋才 助教 河野 良平	出席60%、発表内容20%、発表能力・態度20%で評価する。
動物実験施設	動物実験について考える	准教授 宮嶋 正康 准教授 磯野 協一	1. 出席、少なくとも80%以上。遅刻2回で欠席1回とカウントする。 2. レポート提出、毎週課題を出し、それに対して電子ファイルでまとめを提出する。 まとめは、書籍、ネット上の情報、論文等をまとめても良いが、出典、URLを記載する。 また、自分の意見を必ず入れる。 3. 全員の課題となるが、動物実験計画を立案し、実験を行う。